

ドイツ語教育に関する学生の実態調査

—川崎医科大学・川崎医療福祉大学の場合—

川崎医科大学 外国語教室

荒 井 隆

(平成9年9月3日受理)

Untersuchung des wirklichen Sachverhaltes bei Studenten
über den Deutschsprachlichen Unterricht

Takashi ARAI

*Department of Foreign Languages
Kawasaki Medical School,
Kurashiki, 701-01, Japan
(Received on September 3, 1997)*

概 要

大学設置基準が1991年に改正されて、各大学でカリキュラム改革が進み、昨年度までにほとんどの大学は終わっている状況である。本学においても1993年にカリキュラム改革が行われた。

そこで本稿では、この改革に合わせて1996年10月に川崎医科大学ならびに川崎医療福祉大学の新入生を対象としたドイツ語教育のための実態調査を実施した。

この調査内容の主な項目は、1. 所属学部、学科、性別及び履修の外国語について（設問1—7） 2. 大学入学前の外国語の学習について（設問8—14） 3. 本学におけるドイツ語の履修制度について（設問15—28）、以上の3つに分けて調査分析した。

Resümee

Das Hochschulrahmengesetz wurde im Jahre 1991 geändert. Dementsprechend wurde die Lehrplanreform inzwischen an einzelnen Hochschulen in Angriff genommen. Bis Ende des vorigen Jahres haben fast alle Hochschulen die Aufgaben bewältigt. An unsrer Hochschule wurden die Lehrpläne im Jahre 1993 reformiert.

Entsprechend dieser Reform wurde die Untersuchung des wirklichen Sachverhaltes bei Erstimmatrikulierten an der Kawasaki Medizinischen Hochschule und an der Kawasaki Medizinischen Behandlung-Wohlfahrt-Universität über den Deutschsprachlichen Unterricht im Oktober 1996 gemacht. Folgende Fragen in drei Gruppen wurden gestellt und die Ergebnisse analysiert.

Inhalt der Umfrage:

1. Fakultät, Abteilung, Geschlecht und Fremdsprache (Frage 1 bis 7)
2. Fremdsprache, die man vor dem Eintritt in die Hochschule lernte. (Frage 8 bis 14)
3. Deutschsprachliches Unterrichtssystem an unsrer Hochschule (Frage 15 bis 28)

I. はじめに

1991年に大学設置基準が大幅に改正¹⁾(大綱化)され, 同年7月に施行された直後から各大学のカリキュラム(教育課程)改革が進行している。その改革を実施した国・公・私立大学は, 昨年度までにほとんど終わっている状況である。本学でも1993年にカリキュラム改革が行われた。その大きな柱となったのは, SDL(自己啓発学習)制度の導入²⁾, 第2外国語(ドイツ語・中国語・フランス語)の選択必修制の導入や, 自己点検・評価委員会の設置及び従来の「大学便覧」に代わる「教育と研究」(1997年2月刊)の発行³⁾などが挙げられる。

また, これからの大学教育の活性化, 充実するためには, 学生による授業評価が必要であるが, これを実施している大学は極めて少ない。そこで本稿では, この改革に合わせて1996年10月に筆者担当のドイツ語クラスの新入生を対象とした実態調査を実施した。

以下の調査報告は, 「ドイツ語教育に関する学生の実態調査」の結果を取りまとめたものである。

II. 調査対象と方法

今回の調査対象となったのは, 川崎医科大学医学部(医学科)1学年のドイツ語履修者(70人)と併設の川崎医療福祉大学医療福祉学部(医療福祉学科)1学年(63人)及び医療技術学部(医療情報学科)1学年(83人)のドイツ語履修者である。

調査は, 1996年10月の第1週と第2週にわたり授業時間を利用して行った。回答の方法は, すべて無記名とし, 各設問項目に該当する番号を○で囲む。選択肢の「その他」に○を付けた場合のみ具体的にその内容を記入させた。最後の設問には, これからのドイツ語教育に関して, 学生自身の意見を自由に書いてもらう方法をとった。回答時間に30分かけて行い, 記入後その場で回収したため, 当日欠席した学生を除き回収率は100%であった。

調査内容は, 1. 所属学部, 学科, 性別及び履修の外国語に関する設問(1—7), 2. 大学入学前の外国語の学習に関する設問(8—14), 3. 本学におけるドイツ語の履修制度に関する設問(15—28)の3つに分類し, 全部で28の設問に回答させた。

次の基礎データ「表1」は, 川崎医科大学(以下, 医大と略す)1学年と川崎医療福祉大学(以下, 医福大と略す)1学年のドイツ語の履修者数と回答者数を示したものである。

〈表1〉

1996年10月調

大学・学部(学科)	学年	履修者数	欠席者数	回答者数
医大・医(医)	1	70	12	58
医福大・福祉(福祉)	1	63	24	39
医福大・技術(情報)	1	83	44	39
合 計		216	80	136

注) 上表の履修者数の中には再履修者が含まれている。

表1の学科別にみると、医大の医学科1学年（以下、医1と略す）は入学定員が100名⁴⁾で、ドイツ語を選択して履修している学生は70人である。その他の学生は、中国語（41人）を選択履修している。（フランス語は1996年度開講されていない）

医福大の医療福祉学科1学年（以下、福祉1と略す）は、定員200名で、筆者担当のドイツ語を選択した者は63人である。多くの履修者は、他教員担当のドイツ語、中国語、コリア語（韓国語）を選択している。次に医福大の医療情報学科1学年（以下、情報1と略す）は、定員100名で、ドイツ語の履修者83人と圧倒的に多い⁵⁾。ドイツ語以外の者は、前述の福祉1と同様に他の第2外国語を選択履修する。

表1で、各学科にわたって欠席者が多かったのは、予告なしで調査したことが若干影響したもの⁶⁾と推測される。欠席者の中には、数名の休学者も含まれている。

Ⅲ. 調査項目と結果及び考察

1. 所属学部、学科、性別及び履修の外国語について

設問1 あなたの現在の学部（学科）は次のどれですか。

〈表2〉 (% 表示)

項目 \ 層	医 1	福祉 1	情報 1
①医 大 (医)	82.9(58)	—	—
②医福大 (福祉)	—	61.9(39)	—
③医福大 (情報)	—	—	47.0(39)

注) () 内の数字は回答した人数を示す。

表2で、医福大の医療福祉学部は、医療福祉学科のほかに臨床心理学科(定員50名)、保健看護学科(定員50名)の2学科がある。さらに医療技術学部は、医療情報学科のほかに感覚矯正学科(定員50名)、健康体育学科(定員50名)、臨床栄養学科(定員50名)及びリハビリテーション学科(定員60名)の4学科が置かれている。今回は、いずれも調査の対象外にしたことを付言しておきたい。

設問2 あなたは何学年ですか。

〈表3〉 (% 表示)

項目 \ 層	医 1	福祉 1	情報 1
①1 学年	98.3	97.4	100.0
②再履修	1.7	2.6	0.0
無回答			

表3では、医1の再履修(1.7%)は留年者である。福祉1の再履修(2.6%)は、3、4年次の単位未修得者が受講しているものと思われる。

設問3 あなたは男性ですか、女性ですか。

〈表4〉		(% 表示)		
項目	層	医 1	福祉1	情報1
①男 性		74.1	5.1	28.2
②女 性		25.9	94.9	71.8
無回答				

表4では、医1の男女比は、3:1と男性が多いに対し、福祉1は女性が圧倒的に多いが目立つ。情報1も女性が著しく多い傾向を示している。

設問4 あなたの履修する第1外国語は何語ですか。

〈表5〉		(% 表示)		
項目	層	医 1	福祉1	情報1
①英 語		100.0	94.9	89.7
②英語とドイツ語			2.6	
無回答		0.0	2.5	10.3

注) 取得単位数の項目は省略した。

表5では、医1は英語が第1外国語である。福祉1と情報1は同様に英語が第1外国語である。福祉1の中に、「英語とドイツ語」を選んでいるが回答ミスであろう。福祉1と情報1では無回答のものが5人いた。

設問5 前項の外国語は必修科目ですか、選択科目ですか。

〈表6〉		(% 表示)		
項目	層	医 1	福祉1	情報1
①必修科目		96.6	94.9	76.9
②選択必修科目		3.4	0.0	2.6
③自由選択科目				
無回答		0.0	5.1	20.5

表6では、医1は英語が必修科目である。福祉1と情報1で、ほとんどの学生が英語を必修科目と回答している。医1、情報1の中で選択必修科目に回答したものは、医1の留年者、情報1の再履修者である。情報1で無回答がかなり多いのは、必修・選択の区分が判然としなかったものと推測される。

設問6 あなたの履修する第2外国語は何語ですか。

〈表7〉 (% 表示)

項目 \ 層	医 1	福祉1	情報1
①ドイツ語	98.3	89.7	84.6
②中国語			
③その他	0.0	5.1	7.7
無回答	1.7	5.2	7.7

注) 取得単位数の項目は省略した。

表7で、医1の履修規程によると、第2外国語はドイツ語と中国語のどちらかを選ぶ方法とられる⁶⁾。福祉1、情報1の履修規程では、外国語は共通科目の1分野（教養科目）であり、ドイツ語・中国語・コリア語（韓国語）・英語（必修4単位修得後に履修）の中から選ぶ仕組みになっている⁷⁾。

「その他」に回答した中に、ドイツ語のほかに「コリア語」も併習していることが分かる。

設問7 前項の外国語は必修科目ですか、選択科目ですか。

〈表8〉 (% 表示)

項目 \ 層	医 1	福祉1	情報1
①必修科目	5.2	0.0	0.0
②選択必修科目	94.8	48.7	43.6
③自由選択科目		48.7	48.7
無回答	0.0	2.6	7.7

表8では、医1の第2外国語は、選択必修科目である。必修科目5.2%（3人）は回答ミスと思われる。福祉1または情報1は、選択必修と自由選択がほぼ同数だが、混同したものと考えられる。選択必修に回答すべきであろう。

2. 大学入学前の外国語の学習について

設問 8 あなたは高校時代の外国語（英語）の授業が好きでしたか。

〈表 9〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①大好き	5.5	13.8	0.0	2.6
②好 き	27.2	32.8	33.3	15.4
③普 通	30.8	36.2	33.3	23.0
④嫌 い	25.1	8.6	23.0	43.6
⑤大嫌い	12.0	10.3	10.3	15.4
無回答				

注) 上表の「全」は各学科の全体を示してある。

表 9 では、高校時代に英語の授業が好きか否かを問うたところ、医 1 は「大好き」、「好き」、「普通」の順に数値 (82.8%) が高く、予想どおりである。しかし「嫌い」、「大嫌い」の 18.9 % は気にかかる比率である。一方、福祉 1 をみると、「好き」、「普通」の 66.6% に対して、「嫌い」、「大嫌い」の 33.3% と受講者の半数がいたことは驚かされる。また情報 1 では、「好き」と「嫌い」が逆転し、「嫌い」、「大嫌い」の 59.0% は、衝撃的な結果であった。

設問 9 あなたの外国語（英語）の学習がいまの生活に役立っていますか。

〈表10〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①役立っている	18.6	32.8	7.7	15.4
②役立っていない	40.6	34.5	43.6	43.6
③わからない	40.8	32.8	48.7	41.0
無回答				

表10では、医 1 は「役立っている」とするものと「役立っていない」とするものの比率が、いずれも 30% 台に留まっている。福祉 1 と情報 1 をみても、「役立っている」とするものが低い比率になっている。

設問10 あなたは「ドイツ」または「ドイツ人」という言葉を聞いてどんな形容詞が念頭に浮かびますか。次の中から2つ選んでください。

〈表11〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①勤 勉	8.7	7.5	11.7	7.0
②堅 実	24.8	29.9	23.4	21.1
③合理的	9.0	11.2	10.4	5.6
④音楽的	19.0	12.1	19.5	25.4
⑤清 潔	1.2	0.9	1.3	1.4
⑥陰 険	2.2	3.7	0.0	2.8
⑦冷たい	8.1	9.3	5.2	9.9
⑧創造的	13.4	10.3	13.0	16.9
⑨忍耐強い	3.8	4.7	5.2	1.4
⑩頭脳明晰	7.3	8.4	7.8	5.6
⑪その他	2.4	1.9	2.6	2.8
無回答				

注) 2つまで選択し回答する(複数回答:200%)

表11で、全体として比率の高いのは、「堅実」(24.8%)、「音楽的」(19.0%)、「創造的」(13.4%)、「合理的」(9.0%)、「勤勉」(8.7%)の順になっている。個別にみると、医1は「全」とほぼ同じ順位である。福祉1は、1位が「堅実」、2位が「音楽的」、3位が「創造的」と「全」の傾向とはほぼ一致するが、情報1は、1位が「音楽的」、2位が「堅実」と入れかわっている。「その他」(全 2.4%)には、「芸術的」、「規則正しい」、「ごつごつした感じ」などである。この数値からもドイツ人の気質をよく表わして興味深い。

設問11 あなたはドイツ語圏に関して最も興味のある分野を、次の中から2つ選んでください⁸⁾。

〈表12〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①政 治	2.1	3.6	1.4	1.4
②経 済	0.3	0.9	0.0	0.0
③医 学	16.9	22.7	13.5	14.5
④福 祉	7.1	3.6	13.5	4.3
⑤言 語	2.8	2.7	1.4	4.3
⑥文学・演劇	8.7	6.3	8.1	11.6
⑦美 術	8.8	5.5	12.2	8.7
⑧音 楽	19.1	12.7	23.0	21.7
⑨哲学・宗教	2.8	2.7	1.4	4.3
⑩スポーツ	8.7	14.5	1.4	10.1
⑪生活・民族・風土	19.0	18.1	23.0	15.9
⑫その他	3.5	6.3	1.4	2.9
無回答				

注) 2つまで選択し回答する(複数回答:200%)

表12では、全体としてみると、「音楽」(19.1%)と「生活・民族・風土」(19.0%)が同率1位を占める。次に「医学」(16.9%)、「美術」(8.8%)、「スポーツ」(8.7%)、「文学・演劇」(8.7%)の順になっている。個別にみると、医1は、1位が「医学」、2位が「生活・民族・風土」で「全」の順位と違うが、「医学」が1位なのは当然の結果であろう。「その他」(全 3.5%)には、「工業製品(カメラ・車など)」、「食べ物」などである。ここで注目されるのは、全般的に「生活・民族・風土」が1位と2位を占めて関心の高いことが挙げられる。

設問12 あなたは大学入学前に、英語以外の外国語を課外で学習したことがありますか。

〈表13〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①は い	3.0	3.4		2.6
②いいえ	98.0	96.6	100.0	97.4
無回答				

表13で、英語以外の外国語の学習を経験したものが、医1は、3.4%、福祉1は、全員が課外では未習、情報1は、2.6%と低い比率であった。「英語」の勉強に費やされているものと推測される。

設問13 前項で①と回答した方は、何語を学習しましたか。

〈表14〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①ドイツ語				
②フランス語	25.0	50.0		
③イタリア語				
④中国語				
⑤ロシア語				
⑥朝鮮・韓国語	50.0			100.0
⑦その他	25.0	50.0		
無回答				

表14では、英語以外の外国語を学習したものが少なく、「フランス語」1人、「朝鮮・韓国語」1人、「その他」は、「ギリシヤ・ラテン語」1人で、意外な数値であった。

設問14 その外国語は、どのように学習しましたか。

〈表15〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①ラジオ講座				
②テレビ講座				
③クラブ活動				
④個人教授	25.0	50.0		
⑤専門学校				
⑥その他	75.0	50.0		100.0
無回答				

表15では、英語以外の外国語を学習したか否かの問いに、医1は「個人教授」と他は、高校で外国人の臨時講師の方に習った経験があり、情報1は独学で勉強していることが分かる。

3. 本学におけるドイツ語の履修制度について

設問15以下の分析に入る前に、医大及び医福大の外国語科目・ドイツ語の履修規程に関して、かんたんに触れておく必要がある⁹⁾。

医大（6年制）は、ドイツ語の場合、卒業に必要な最低単位数が1, 2学年で8単位と規定されている。しかし実質上は単位制ではなく、学年制がしかれており、時間数（通年で1学年48, 2学年52）で認定され修得することになる¹⁰⁾。一方、医福大（4年制）はドイツ語（共通科目の1分野）の場合、卒業に必要な最低の履修単位数が1, 2学年で4単位（通年で1学年2単位, 2学年2単位）を修得することになっている。

設問15 あなたの履修するドイツ語は、どんな理由で選んだのですか。

項目	層	全	医 1	福祉1	情報1
①好きで興味があるから		6.3	3.4	7.7	7.7
②教養として身につけたいから		49.7	36.2	59.0	53.8
③専門科目の勉強に必要なだから		23.1	36.2	7.7	25.6
④その国に旅行したり、その国の 人と交流してみたいから		7.5	12.1	2.6	7.7
⑤その他		13.4	12.1	23.0	5.1
無回答					

表16では、ドイツ語を履修する理由の中で数値の高いのは、「教養として身につけたいから」（全体平均49.7%）と答えている。個別にみると、医1は36.2%、福祉1は59.0%、情報1は53.8%である。しかし医1は全体平均よりは低い。次いで「専門科目の勉強に必要なだから」（医1 36.2%、情報1 25.6%）、「その国に旅行したり、その国の人と交流してみたいから」（医1 12.1%、情報1 7.7%）の順になっている。だが福祉1は、「その他」が23.0%と高い率を占めている。その内訳は、「将来、仕事に必要なと思うから」、「医療の仕事につく時に役立つと思うから」、「ただ何となくドイツ語という言葉にひかれて」、「以前から関心を持っていたから」などである。

設問16 あなたは現在履修しているドイツ語にどれくらい意欲を持っていますか。

〈表17〉 (％ 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①語学力をつけたい	36.6	53.4	28.2	28.2
②よい成績をとりたい	36.0	25.9	38.5	43.6
③適当にやるつもり	24.5	17.2	33.3	23.0
④全くやる気がない	2.8	3.4	0.0	5.1
無回答				

表17では、医1は「語学力をつけたい」と思っているものが、全体平均36.6%に比べて、53.4%と高率である。これに対し福祉1と情報1は、同率で28.2%と低い。医1がドイツ語への関心の高さを示している。次に「よい成績をとりたい」と答えたものが、医1は25.9%，福祉1は38.5%であるに対して、情報1は43.6%とかなり高い数値である。

設問17 あなたはいま受講しているドイツ語の授業をどう感じていますか。

〈表18〉 (％ 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①やさしい				
②普通	14.9	24.1	15.4	5.1
③むずかしい	55.7	51.7	59.0	56.4
④とてもむずかしい	29.4	24.1	25.6	38.5
無回答				

表18では、3学科ともに「やさしい」と回答したものが皆無なのは、全く予想外であった。これに対し全体平均で「むずかしい」、「とてもむずかしい」と8割強の学生が答えている¹¹⁾。これは教員側に強い不満度を示したものと考えてみる必要があるだろう。

設問18 前項で, ③または④と回答した方は, 何が特にむずかしいですか。

〈表19〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①発 音	9.1	10.1	6.1	11.1
②文 法	71.1	62.0	81.8	69.4
③訳 読	8.4	14.0	0.0	11.1
④作 文	2.7	8.0	0.0	0.0
⑤その他	8.8	6.0	12.1	8.3
無回答				

表19では, 受講しているドイツ語の授業について何がむずかしいかの問いであったが, 「文法」と答えたものが全体平均で71.1%と高率である。学科別にみると, 医1は62.0%と「全」より下回るが, 逆に福祉1は81.8%と高く, 情報1は69.4%であった。「文法」の学習が問われているものと考えられる。

設問19 あなたはドイツ語のために, 正規の授業のほかに週にどれ位勉強していますか。

〈表20〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①全くしていない	68.5	41.4	84.6	79.5
②30分程度	22.0	37.9	10.3	17.9
③1時間程度	8.3	17.2	5.1	2.6
④2時間程度	0.6	1.7	0.0	0.0
⑤3時間以上				
無回答	0.6	1.7	0.0	0.0

表20では, 全体的にみると「全くしていない」が68.5%, 「30分程度」が22%, 「1時間程度」が8.3%, 「2時間程度」が0.6%の順になっている。週に「3時間以上」勉強するものはほとんどいない。予め勉強してから授業に臨む学生が極めて少ないことが分かる。

設問20 それは主にどのような勉強ですか。

〈表21〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①授業の予習・復習	85.5	85.7	83.3	87.5
②ラジオ・テレビ講座	1.9	5.7	0.0	0.0
③参考書・問題集				
④テープ・ビデオ教材	11.6	5.7	16.7	12.5
⑤その他				
無回答	1.0	2.9	0.0	0.0

表21では、3学科ともに「授業の予習・復習」が8割強と高い比率である。特に情報1は「全」の平均よりも上回る。次に「テープ・ビデオ教材」(全 11.6%)と続く。「ラジオ・テレビ講座」(全 1.9%)で勉強しているものがほとんどいないのが目立っている。

設問21 ドイツ語の授業で、1クラスあたりの人数は何名位が適当と思われますか。

〈表22〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①20名位	20.0	34.5	23.0	2.6
②30名位	33.4	20.7	46.1	33.3
③40名位	15.4	10.3	12.8	23.0
④50名位	12.6	17.2	2.6	17.9
⑤わからない	18.5	17.2	15.4	23.0
無回答				

表22で示すとおり、医1は「20名位」(34.5%)と多く、福祉1は「30名位」(46.1%)と最も多い。情報1も「30名位」(33.3%)と多く、少人数希望の傾向がつよい。1クラスの適正規模は30名位と思われる。

設問22 あなたは大学でのドイツ語の授業に満足していますか。

〈表23〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①満足している	14.5	10.3	20.5	12.8
②大体満足である	31.7	25.9	38.5	30.8
③少し不満である	43.7	46.6	35.9	48.7
④不満である	10.0	17.2	5.1	7.7
無回答				

表23では、ドイツ語の授業に対して「満足している」(全 14.5%), 「大体満足している」(全 31.7%) は、全体として46.2%に過ぎず、不満度は全体の平均を上回っていることが分かる。

設問23 前項で、③または④と回答した方は、特に何が不満ですか。

〈表24〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①テキストがつまらない	9.2	15.7	11.8	0.0
②進度が早すぎる	18.7	17.6	17.6	20.8
③むずかしすぎる	50.0	29.4	70.6	50.0
④説明がよくわからない	13.5	19.6	0.0	20.8
⑤板書が見にくい	4.1	3.9	0.0	8.3
⑥声が小さい				
⑦シラバスに沿って授業が行われていない				
⑧その他	3.9	11.8	0.0	0.0
無回答	0.7	2.0	0.0	0.0

表24では、不満の理由を全体の平均でみると、「むずかしすぎる」50.0%、「進度が早すぎる」18.7%、「説明がよくわからない」13.5%などの順になっている。学科別にみると、医1の29.4%が「むずかしすぎる」と答え、全体平均を下回るが、福祉1は70.6%とかなり上回る結果になった。医1の「その他」(11.8%) には、「問題集がほしい」、「やる気のある学生のみで講義した方がよい」、「文法は大事だが、もう少し、会話を取り入れてほしい」などであった。

設問24 あなたはドイツ語の講読の教材としてどのようなものを読みたいですか。

〈表25〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①小 説	39.1	23.3	37.5	56.4
②ミステリー・SF	27.8	25.0	27.5	30.8
③随筆・伝記	7.3	6.7	10.0	5.1
④医学・医療分野	18.1	26.7	22.5	5.1
⑤紀行文	3.4	5.0	2.5	2.6
⑥時事文	2.8	8.3	0.0	0.0
⑦その他	0.6	1.7	0.0	0.0
無回答	1.1	3.3	0.0	0.0

表25で、学科別にみると医1は、「医学・医療分野」(26.7%)、「ミステリー・SF」(25.0%)、「小説」(23.3%)の3項目が上位を占める。福祉1および情報1は、「小説」(福祉 37.5%、情報 56.4%)、「ミステリー・SF」(福祉 27.5%、情報 30.8%)の2項目が上位を占め、情報1の「医学・医療分野」の比率が著しく低い。

設問25 あなたは大学でのドイツ語の授業時間数についてどう思いますか。

〈表26〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①適当である	55.1	44.8	59.0	61.5
②少なすぎる	20.3	32.8	12.8	15.4
③わからない	24.5	22.4	28.2	23.0
無回答				

表26では、医1は授業時間数が「適当である」44.8%に対して、「少なすぎる」と回答したものが32.8%とかなり多い。今後、時間数を増やすかどうか検討の余地があると思われる。一方、福祉1および情報1は、「適当である」と6割の学生が答えている。

設問26 あなたはドイツ語の授業に何を期待していますか。

〈表27〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①読解力の養成	39.7	34.5	51.3	33.3
②コミュニケーション能力の養成	38.9	39.7	38.5	38.5
③総合的なドイツ語能力の養成	10.0	12.1	7.7	10.3
④特に期待していない	10.9	12.1	2.6	17.9
⑤その他	0.6	1.7	0.0	0.0
無回答				

注) 上表の①では、辞書を用いて平易なドイツ文が読める。②では、かんたんなドイツ語会話ができる。③では、資格試験, 独検 3 級・4 級をめざす。

表27では、全体平均でみると「読解力の養成」が39.7%、「コミュニケーション能力の養成」38.9%とほとんど差異はなく上位を占めており、次に「総合的なドイツ語能力の養成」が10.9%と続いている。学科別に比較しても近い数値を示している。中でも福祉1は、「読解力の養成」51.3%と期待度が高い。

設問27 前項の授業が実施されたら、次のどれを選びますか。

〈表28〉 (% 表示)

項目 \ 層	全	医 1	福祉 1	情報 1
①読解力	24.3	24.1	30.8	17.9
②ドイツ語会話	47.2	46.6	51.3	43.6
③総合的なドイツ語	14.6	15.5	7.7	20.5
④ドイツ語圏の文化知識	12.6	12.1	10.3	15.4
無回答	1.4	1.7	0.0	2.6

表28では、ドイツ語の授業で上表の4種類の授業が実施された場合を問うたところ、医1および福祉1は、ともに「ドイツ語会話」(医1 46.6%, 福祉1 51.3%)が1位と多く、「読解力」(医1 24.1%, 福祉1 30.8%)が2位となる。また情報1は、やはり「ドイツ語会話」(43.6%)が1位、「総合的なドイツ語」(20.5%)が2位を占める。「ドイツ語会話」への関心が高いことが認められる。

上記で、設問形式は終わり、最後の1問は自由記述による各自の意見を書いてもらうことにした。学生側の多くの意見の中から、医1・福祉1・情報1の順序で、以下列举してみよう。

設問28 大学におけるドイツ語教育は、今後いかにあるべきか、あなた自身の意見を自由に書いてください¹²⁾。

注) () 内は男 (m.) 女 (f.) 別と回答者数を示す。各意見は、原文のまま載せてある。

(1) 医大 (医1) の例

「今までの授業を続けていけばよい」 (m. 2, f. 4)

「緊張感を持たせるため小テストをやってほしい」 (m. 3)

「文法よりも実用的な会話を教えてほしい」 (m. 1, f. 2)

「テキスト以外の知識を多く取り入れてほしい」 (m. 2)

「実生活でふれることが少ないから、ゆっくり教えてほしい」 (m. 2)

「医大では絶対に必要だから、もっと基本的な事に時間をかけてやるべきだ」 (f. 1)

「教養として身につけるためにもドイツ語は大事だと思う」 (f. 1)

「月曜に休日が多いので、ドイツ語と接する時間が少なくなり、自主的に勉強する意欲がなくなる」 (m. 1)

「もう少し基礎をゆっくりやってほしい、時々問題を板書して解くような感じで…」 (f. 1)

「ドイツ語に親しみにくいイメージがあるので、まずそれを直してほしい」 (f. 1)

「各人のやる気に合わせた自由選択の授業を望んでいる」 (f. 1) など。

(無回答は 8 人)

(2) 医福大 (福祉1) の例

「会話文など話すのに必要なことをやってほしい」 (f. 8)

「とても難しいので、ゆっくり進めてほしい。また毎回テストをするようにしたらよい」 (f. 2)

「ドイツの文化をおりまぜながら勉強できたらよい」 (f. 2)

「文法は英語と比べて学ぶと分かりやすい」 (f. 1)

「やさしい内容はよいと思うが、もっと実用的なものを学びたい」 (f. 2)

「授業進度や内容は今までで充分と思うが、定期試験がむずかしい」 (f. 1)

「今までの授業のように基礎的なことからやってくれるから、分かりやすい」 (f. 2)

「文法は基本的なことなので大切だけど、英会話のようにくだけた感じで学びたい」 (f. 1)

「テープを多く聞かせ、発音をもっとやってほしい」 (f. 2)

「今のままで充分と思う、授業も分かりやすいし、テキストもよい」 (f. 2)

「単語の知識が全くないので、重要単語を教えてほしい」 (f. 1)

「旅行しても困らない程度の会話を覚えたい」 (f. 1)

「わかりやすく説明してくれるけど、もう少し授業をゆっくり進めてほしい」 (f. 3) など。

(無回答は5人)

(3) 医福大(情報1)の例

「ドイツの音楽や文化などが知れたらもっと楽しくドイツ語ができると思う」(f.1)

「このままの授業のやり方でよいと思う」(m.2, f.3)

「進度が早いので、その時間に理解できる程度に教えてほしい」(f.2)

「簡単なコミュニケーションがとれる会話力を身につけるような授業を望む」(m.4)

「ドイツ人の先生を招いて、本場のドイツ語の発音を聞きたい」(f.1)

「ドイツ人の先生がいて、その傍で日本人の先生がいるような授業をしてほしい」(m.1)

「ドイツ語は格変化が多いから、もう少し分かるように教えてほしい」(f.1)

「文法を学んだ後は、小説など読みやすい文に接すれば、もっと興味がわくと思う」(f.1)

「病院では昔はドイツ語が使われていたが、今ではカルテなど英語なので、余り意欲がない」(f.1)など。

(無回答は16人)

Ⅳ. まとめにかえて

以上、本調査の分析結果に関して、それぞれ設問のなかで逐次指摘してみた。全体を概観して、筆者がとくに気付いた諸点を次に挙げてみたい。

1) 当初調査の実施に際して、医大及び医福大2年次の学生にも調査対象にしていたが、受講者が極めて少数であったため調査を見送ったことを付記しておきたい。

2) 筆者は、ほぼ毎回期末または定期試験には、ドイツ語授業に関する感想文を学生に記述させ、授業の質の改善に資するために行ってきたが、この調査の実施で学生からの明確な意志表示として、実証されたことに意義があるものと思われる。

3) 授業内容に関する設問では、とりわけ「文法・訳読」学習に対するきびしい意見が多く見られたこと、授業の「進度」についていけないと感じていること、また全般的にドイツ語に対する関心はつよいが、学習意欲は余り高くなかったこと、さらにドイツ語圏の文化理解のための「総合ドイツ語」の志向がつよいこと、外国人教師の「ドイツ語会話」の授業を望んでいることなど、多岐にわたっている。当面の検討課題であると考えらる。

4) 本調査は、対象が1年次の特定クラスに限って行っており、また調査項目のたて方、質問・選択肢などで不適切な箇所や不備なところが多々あったと反省している。次の機会には、全学・全学年まで対象を拡げて調査することが必要であろう。

最後に、今回実態調査を行うにあたって協力して下さった学生の方々と調査集計の作業を引き受けて下さった川崎医科大学外国語教室の荒島貞子さんに厚く御礼を申し上げる。

文 献

- 1) 教育行政資料センター：文部行政のすべて、1994, pp. 513-517
- 2) 川崎医科大学：自己啓発学習（SDL）資料、1994
- 3) 川崎医科大学：教育と研究、1997, pp. 12-15
- 4) 同上、pp. 42-43
- 5) 中央大学人文科学研究所：外国語教育に関するアンケート調査報告、1990, pp. 51-60
- 6) 川崎医科大学：学習のてびき、1997, pp. 2-5
- 7) 川崎医療福祉大学：学生便覧、1997, pp. 5-15
- 8) 独協大学外国語教育研究所：外国語教育に関する学生の実態調査報告、1986, pp. 100-161
- 9) 荒井 隆：非専門教育としての外国語教育ードイツ語授業実践の試み、一川崎医科大学一般教養篇 第20号、1994, pp. 54-55
- 10) 川崎医科大学：前掲書、pp. 14-15
- 11) 日本独文学会ドイツ語教育部会：ドイツ語教育 1、1996, pp. 150-158
- 12) 内村国臣：ドイツ語における「講読」授業の改善の一つの試み、中央学院大学人間・自然論叢、第3号、1995, pp. 44-48

資 料

〔調査用紙〕

1996年10月

ドイツ語教育に関する学生の実態調査

川崎医科大学外国語教室

本調査は、これからのドイツ語教育の在り方を考えていく上での基礎資料となるものです。下記によりご回答くださるようご協力のほどお願いします。

〈記入方法〉

- ① 学籍番号・氏名は記入する必要がありません。
- ② 回答は、各設問項目の該当する番号を○で囲んでください。
- ③ □内には算用数字で記入してください。
- ④ 特に指定のない限り、選択肢は1つだけ選んでください。
- ⑤ 選択肢の「その他」に○をつけた方は、〔 〕内にできるだけ具体的にその内容を書いてください。

A. 所属学部、学科、性別および履修外国語について

設問1. あなたの現在の学部、学科は次のどれですか。

1. 川崎医科大学 医 学 部 (医 学 科)
2. 川崎医療福祉大学医療福祉学部 (医療福祉学科)
3. 川崎医療福祉大学医療技術学部 (医療情報学科)

設問2. あなたはいま何学年ですか。

- | | |
|---------|------------------|
| 1. 1 学年 | 2. 2 学年 |
| 3. 再履修 | 4. その他〔 〕 |

設問3. あなたは男性ですか, 女性ですか。

- | | |
|--------|--------|
| 1. 男 性 | 2. 女 性 |
|--------|--------|

設問4. あなたの履修する第一外国語(または共通科目)は, 何語で何単位取得見込みですか。

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. 英 語 <input type="checkbox"/> 単位 | 2. ドイツ語 <input type="checkbox"/> 単位 |
| 3. 中国語 <input type="checkbox"/> 単位 | 4. その他〔 〕 <input type="checkbox"/> 単位 |

設問5. 前項の外国語は必修科目ですか, 選択科目ですか。

1. 必修科目
2. 選択必修科目
3. 自由選択科目
4. 1 学年が必修科目で, 2 学年が自由選択科目

設問6. あなたの履修する第二外国語(または共通科目)は, 何語で何単位取得見込みですか。

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. 英 語 <input type="checkbox"/> 単位 | 2. ドイツ語 <input type="checkbox"/> 単位 |
| 3. 中国語 <input type="checkbox"/> 単位 | 4. その他〔 〕 <input type="checkbox"/> 単位 |

設問7. 前項の外国語は必修科目ですか, 選択科目ですか。

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 必修科目 | 2. 選択必修科目 | 3. 自由選択科目 |
|---------|-----------|-----------|

B. 大学入学前の外国語の学習について

設問8. あなたは高校時代の外国語(英語)の授業が好きでしたか。

- | | | |
|--------|--------|-------|
| 1. 大好き | 2. 好き | 3. 普通 |
| 4. 嫌い | 5. 大嫌い | |

設問9. あなたの外国語(英語)の学習がいまの生活に役立っていますか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 役立っている | 2. 役立っていない |
| 3. わからない | |

設問10. あなたは「ドイツ」または「ドイツ人」という言葉を聞いてどんな形容詞が念頭に浮かびますか。次の中から2つ選んでください。

- | | | | |
|---------|----------|-------------------|--------|
| 1. 勤勉 | 2. 堅実 | 3. 合理的 | 4. 音楽的 |
| 5. 清潔 | 6. 陰険 | 7. 冷たい | 8. 創造的 |
| 9. 忍耐強い | 10. 頭脳明晰 | 11. その他〔 〕 | |

設問11. あなたはドイツ語圏に関して最も興味のある分野を, 次の中から2つ選んでください。

- | | | | |
|-------------------|----------|--------------|-------|
| 1. 政治 | 2. 経済 | 3. 医学 | 4. 福祉 |
| 5. 言語 | 6. 文学・演劇 | 7. 美術 | 8. 音楽 |
| 9. 哲学・宗教 | 10. スポーツ | 11. 生活・民族・風土 | |
| 12. その他〔 〕 | | | |

1. はい 2. いいえ

1. ドイツ語 2. フランス語 3. イタリア語
4. 中国語 5. ロシア語 6. 朝鮮・韓国語
7. その他〔 〕

1. ラジオ講座 2. テレビ講座 3. クラブ活動
4. 個人教授 5. 専門学校 6. その他〔 〕

1. 好きで興味があるから
2. 教養として身につけたいから
3. 専門科目の勉強に必要だから
4. その国に旅行したり、その国の人と交流してみたいから
5. その他〔 〕

1. 語学力をつけたい 2. よい成績をとりたい
3. 適当にやるつもり 4. 全くやる気がない

1. やさしい 2. 普通
3. むずかしい 4. とてもむずかしい

1. 発音 2. 文法 3. 訳読
4. 作文 5. その他〔 〕

1. 全然していない 2. 30分程度
3. 1時間程度 4. 2時間程度
5. 3時間以上

1. 授業の予習・復習 2. ラジオ・テレビ講座
3. 参考書・問題集 4. テープ・ビデオ教材
5. その他〔 〕

1. 20名位 2. 30名位 3. 40名位
4. 50名位 5. わからない

